

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 7 区分

【発行日】平成26年4月17日 (2014.4.17)

【公開番号】特開2012-171795(P2012-171795A)

【公開日】平成24年9月10日 (2012.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-036

【出願番号】特願2011-52165(P2011-52165)

【国際特許分類】

B 6 5 G 33/32 (2006.01)

【F I】

B 6 5 G 33/32

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月23日 (2014.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

上部にホッパーが設けられた水平スクリーコンベヤの出口部に、垂直スクリーコンベヤが両コンベヤの軸心線を交差させた状態で直交して連結され、前記垂直スクリーコンベヤのシリンダーは、軸線方向に分割された一対の部材により構成されていて、該部材の一方を水平スクリーコンベヤ側に固着し、他方を反水平コンベヤ方向に向けて回転可能に前記一方の部材に支承させた食肉移送用スクリーコンベヤであって、前記水平スクリーコンベヤの水平スクリーは螺旋状のスクリーが軸に巻き掛けられ一体的に形成されていて、該スクリーの先端部を垂直スクリー付近に臨ませ、他端部に形成された第一フランジを駆動軸の先端に形成されて機壁に開けられた孔に外周面を緩く嵌合させた第二フランジに締結ボルトによって着脱可能に連結されており、駆動軸には第二フランジに当接して第一ベアリングが、適宜間隔を隔てて第二ベアリングが嵌め込まれ、該両ベアリングを保持する支持メタルが機体に取り着された食肉移送用スクリーコンベヤ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、上部にホッパーが設けられた水平スクリーコンベヤの出口部に、垂直スクリーコンベヤが両コンベヤの軸心線を交差させた状態で直交して連結され、前記垂直スクリーコンベヤのシリンダーは、軸線方向に分割された一対の部材により構成されていて、該部材の一方を水平スクリーコンベヤ側に固着し、他方を反水平コンベヤ方向に向けて回転可能に前記一方の部材に支承させた食肉移送用スクリーコンベヤであって、前記水平スクリーコンベヤの水平スクリーは螺旋状のスクリーが軸に巻き掛けられ一体的に形成されていて、該スクリーの先端部を垂直スクリー付近に臨ませ、他端部に形成された第一フランジを駆動軸の先端に形成されて機壁に開けられた孔に外周面を緩く嵌合させた第二フランジに締結ボルトによって着脱可能に連結されており、駆動軸には第二フランジに当接して第一ベアリングが、適宜間隔を隔てて第二ベアリングが嵌め込まれ、該両ベアリングを保持する支持メタルが機体に取り着された食肉移送用スクリーコンベヤ

とすることで目的を達成する。